

海外経済

		2017年6月	2017年7月
世界経済		<p>世界の景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、<u>アメリカの金融政策正常化の影響</u>、<u>中国を始めアジア新興国等の経済の先行き</u>、<u>政策に関する不確実性による影響</u>、<u>金融資本市場の変動の影響等</u>について留意する必要がある。</p>	<p>世界の景気は、緩やかに回復している。 先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、<u>中国を始めアジア新興国等の経済の先行き</u>、<u>政策に関する不確実性による影響</u>、<u>金融資本市場の変動の影響等</u>について留意する必要がある。</p>
アメリカ		<p>アメリカでは、景気は着実に回復が続いている。 先行きについては、<u>着実に回復が続くと見込まれる</u>。ただし、今後の政策の動向及び影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
アジア地域	中国	<p>中国では、各種政策効果もあり、景気は持ち直しの動きがみられる。 先行きについては、各種政策効果もあり、当面は持ち直しの動きが続くものと見込まれる。ただし、<u>不動産価格や過剰債務問題を含む金融市場の動向等</u>によっては、景気が下振れするリスクがある。</p>	(変更なし)
	その他アジア	<p>韓国では、景気はこのところ持ち直しの動きがみられる。台湾では、景気は持ち直しの動きがみられる。インドネシアでは、景気はこのところ持ち直しの動きがみられる。タイでは、景気は持ち直しの動きがみられる。インドでは、景気は内需を中心に緩やかに回復している。</p>	(変更なし)
ヨーロッパ地域	ユーロ圏	<p>ユーロ圏では、景気は緩やかに回復している。ドイツでは、景気は緩やかに回復している。先行きについては、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、<u>地政学的リスクの影響</u>、<u>政策に関する不確実性</u>の影響等に留意する必要がある。</p>	(変更なし)
	英国	<p>英国では、<u>一部に弱めの動きもみられるが</u>、<u>景気は回復している</u>。先行きについては、<u>E U離脱問題に伴う不透明感の高まりによる影響</u>から、<u>回復が緩やかになる</u>ことが見込まれる。<u>また、その影響の拡大に留意する必要がある。</u></p>	<p>英国では、<u>景気回復は緩やかになっている</u>。先行きについては、<u>E U離脱問題に伴う不透明感による影響</u>から、<u>回復がさらに緩やかになる</u>ことが見込まれる。</p>